

# 事故ゼロ・エコドライブ

## 雪だるま作り呼び掛け

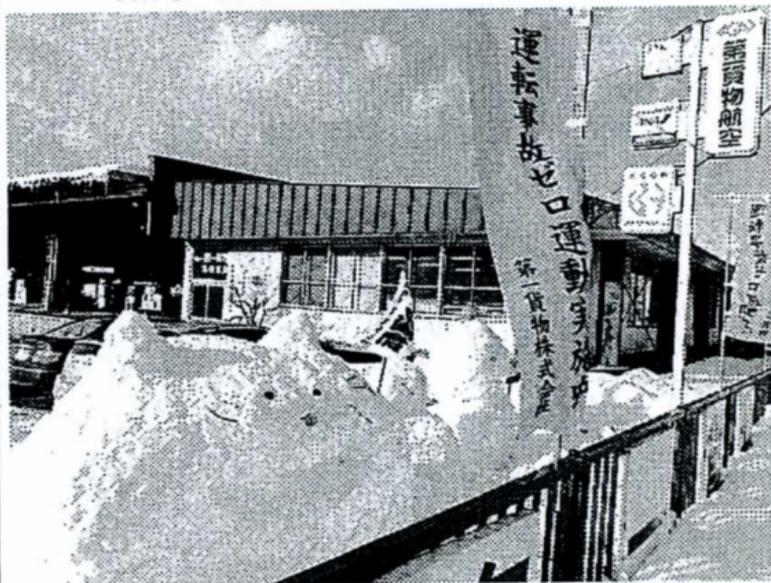
第一貨物  
札幌支店

第一貨物(武藤幸規社長、山形市)の札幌支店(札幌市清田区)では、1~15日まで「運転事故ゼロ・エコドライブ運動」を行った。期間中は事務所前に幾つもの雪だるまを作り、社員および通行人らに無事故運転の大切さを呼び掛けた。毎年実施しているもので

①追突事故の根絶②エコドライブの実施③「冬道の安全運転5則」の厳守④法令順守の徹底——を図るのが狙い。冬季における雪だるまの飾り付けは昨年から始まり、今回も社員自らが各チームに分かれて作った。さらに、事務所内には社員

の家族が作ったイラスト付きの安全ポスターを10枚以上も張り出し、安全運転の徹底や意識高揚を図った。雪だるまの発案者の菅井洋志支店長は「画一的に行うより『遊び心』があったほうが社員も積極的になる。安全、環境への取り組みを形にすることで、地域の方にも知ってもらえる。

無事故を呼び掛ける雪だるま



また、地元の子供たちが珍しがって見てくれると作り

「いももあるし気合も入るというものだ」と顔をほころばす。

また、

札幌支店は

保有車77両、

従業員94人

で、電化製品

や食品、書籍

など幅広い輸

配送業務を手

掛けている。

「運転事故ゼ

ロ・エコドラ

イブ運動」は

年4回、毎回

趣向をこらし

実施しているという。

(北原 進之輔)